

平成28年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
出 席 者	小林伸吉、森本由美子
事 業 名	全国自治体病院経営都市議会協議会主催 第12回地域医療政策セミナー
事 業 区 分	① 研究研修 ②調査

1 蕪崎市での課題と研修・調査の目的

当協議会は279団体で構成されており、その中で自治体病院の経営改善と地域医療を守る取り組みをしている病院、団体の講演を聞き、本市立病院の経営や病院のあり方、また地域医療について等を研究する目的でセミナーに参加した。

2 実施概要

実 施 日 時	視察先	東京都千代田区平河町 都市センターホテル（コスモホール）
平成28年11月1日（火） 13:00～16:50	担当部局	—
報 告 内 容	<p>◆講演「地域医療を守る私たちの取り組みと考え方」 講師 宮崎県北の地域医療を守る会 事務局長 福田 政憲 氏</p> <p>「延岡市地域医療を守る条例」の制定の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県の北端・延岡市の人口 126,000人 ・他3町で2次救急医療圏、他1市5町2村で3次救急医療圏としている ・宮崎県立延岡病院が平成10年に全面改築グランドオープン 病床数460床、稼働病床386床、医師54名 ・平成14年に麻酔科医師5人の退職をはじめ、平成18年から毎年医師が退職し、特に平成21年には6人の医師が退職したため、腎臓、神経内科などが休診となり、人工透析や脳梗塞などの患者の受け入れが不可能になってしまった。この状況をきっかけに、命の砦への危機感を募らせた市民が、市民活動として地域医療全体を署名以外のできることを考え、行動する会として、「宮崎県北の地域医療を守る会」が発足された <p>地域医療問題を考える中で見えてきたものは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①医師不足などの問題の原因は国の制度や県市町村の行政の施策だけではなく、地域住民の側にもあるということ ②地域の医療資源には限りがあるものであり、地域総力戦（協働）で地域医療を守っていくべきであるということ 	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(つづき) 報 告 内 容</p>	<p>このようなことを市長に提言し、市長提案で「延岡市地域医療を守る条例」が制定されることに至った</p> <p>条例は、市、医療機関、市民の責務が明確にされ、特に市民の責務として、</p> <p>①かかりつけ医を持つ。</p> <p>②適正な受診(時間内の受診)</p> <p>③医師等に対する信頼と感謝</p> <p>④健診の積極的受診と日頃からの健康管理</p> <p>が定められ、基本理念として、</p> <p>「みんなで地域医療を守ること」「市民自らが健康長寿を目指す」としている。</p> <p>条例に基づき、地域、学校、保育園、保護者などと、小児科医師とが交流していく中で、小児医療の現場の大変な状況を認識し、共通理解して自分たちができることを考える機会を得ている。</p> <p>そうしたことから、子どもや親、市民が、医師などに対しての感謝の心や信頼の心が生まれ、医師たちもモチベーションを上げながら、自信と誇りを持ち温かい医療へと反映され、温かい街づくりへと繋がっているとのことであった。</p> <p>更に、市民の責務として自治会ごとに健康長寿推進市民会議による行動計画を策定し、医療・福祉支援専門家集団や保健師などが関わりながら、日頃からの健康管理に努めていることが話された。</p> <p>地域、行政、医療が一体となり地域医療を守ることが、健康長寿の延伸に大きくつながっていくということを学んだ。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">感想 (まとめ) ・市政に活かせること</p>	<p>《考察》(これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか)</p> <p>本市においても、宮崎県立延岡病院と同様に、医師等医療従事者の不足が一層病院職員の負担増に拍車をかけており、市民が安心して受診できる受入体制を構築していくという市民サービスの視点からも医療関係者の負担減は大きな課題であり、市民が安心できる地域医療を確立していかなければならないと考える。そのためには、行政や医療機関だけではなく、市民の理解、協力が不可欠である。</p> <p>このようなことから、医療現場の状況を市民が認識し、協働しようと感じられる機会を持つことが必要になってきていると思う。小児科医の負担軽減のため、子どもたちも自ら感染症予防に取り組むとか、大人も積極的に健康診断を受診する等、日頃の健康管理や救急医療への正しい認識を持つことなど、私たちにできることを考え、理解し、実践していく意識と学ぶ機会が必要と考える。</p> <p>「延岡市の地域医療を守る条例」は、市民、行政、医療に携わるすべての人々が、尊い命を守るための条例であることを認識したものであり、とても参考になった。</p> <p>人口減少対策にもつながっていく、協働で作り上げた有益な施策あると感じた。</p>

※視察先の写真等がある場合は添付のこと

◆視察先等の写真◆

◆2016/11/1、13:00～14:40

砂川市立病院の機能的・経営的改善に向けた取り組み



◆2016/11/1、15:00～16:40

地域医療を守る私たちの取り組みと考え方

